

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長 湊 直樹	電話番号	0852-22-5345
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	公害紛争処理対策事業費		
目的	(1) 対象	苦情申し立て住民	
	(2) 意図	公害紛争や苦情の早期処理に向けた支援をする。	
事業概要	市町村と県出先機関での役割分担の下で、迅速な苦情処理を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	公害苦情の処理率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	公害苦情当年度処理件数/（公害苦情当年度受理件数+前年度繰越件数）	目標値	99.30	100.00	100.00	100.00
			実績値	99.80	99.80	99.20	98.60		
			達成率		99.80	99.20	98.60		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値	0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00				
			達成率		0.00	0.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	989	989
うち一般財源(千円)	989	989

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成26年度の処理対象苦情案件数は、平成26年度受理件数348件、前年度からの繰越件数4件、合計352件。このうち、平成26年度処理件数は347だった。
- 苦情件数は、前年度に比べて減少しており、過去5年間も減少傾向にある。
- なお、公害紛争処理法に基づく公害調停案件はなかった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度に受け付けた公害苦情について、おおむね解決できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特になし

②困っている状況が発生している「原因」

特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、市町村と県の役割分担の下で、迅速な苦情処理を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）